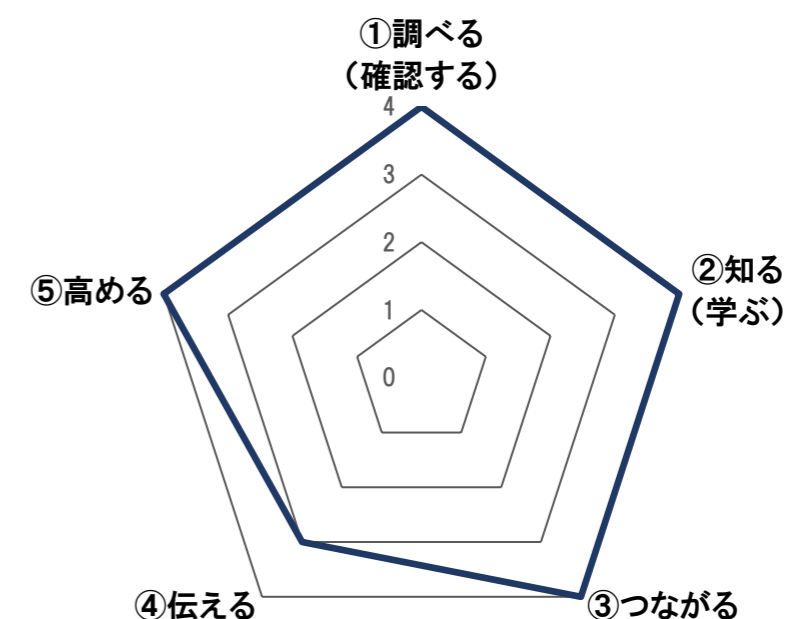


鷺別小学校区

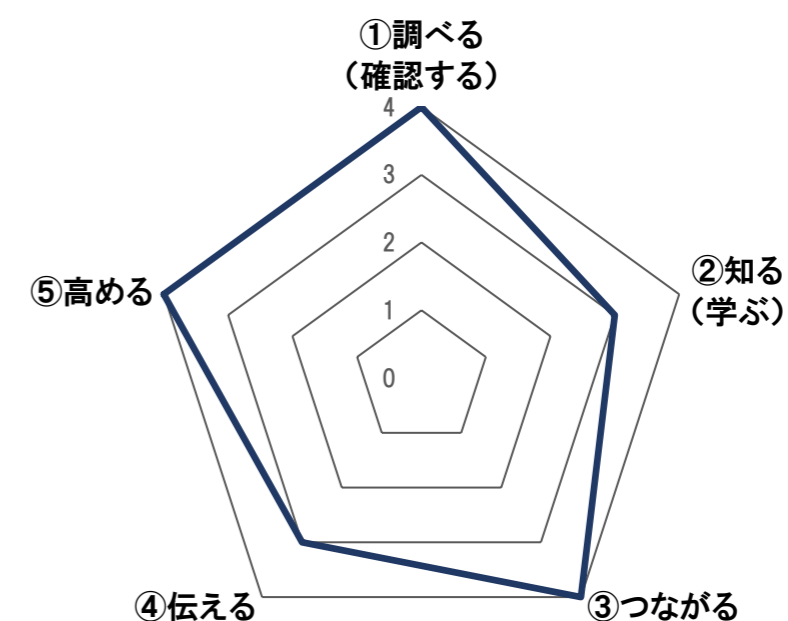
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	2度校区の委員会を設けることができ、校区の実情の確認や今後のモデル事業実施に向けた検討を進めることができた。	4	今後も定期的な校区委員会の開催を軸に、校区活動の充足を図る。
②知る (学ぶ)	包括けいあいからの地域の高齢者に関する情報提供を踏まえ、地域の実情を学ぶことができた。	4	モデル事業実施に活かすと共に、地域の実情を広く住民とも共有していくことを目指す。
③つながる	毎回の推進委員会への出席率が高く、校区内のつながりを強めることができた。また、恵愛病院との連携の元、鍵預かりサービス事業を開始することができた。	4	モデル事業実施に向け、今後ますますの関係性構築を進めていく。
④伝える	生活支援のモデル事業実施に向け、今後ますます校区内に広くきずなの活動を伝えていく必要がある。	3	モデル事業実施に向け、広く住民にきずな活動の趣旨やモデル事業の必要性を伝えていく。
⑤高める	生活支援の事業実施を目指し、委員の想いを高めることができた。	4	より良い校区活動の実践を目指し、今後も熱心な意見交換の場としていく。



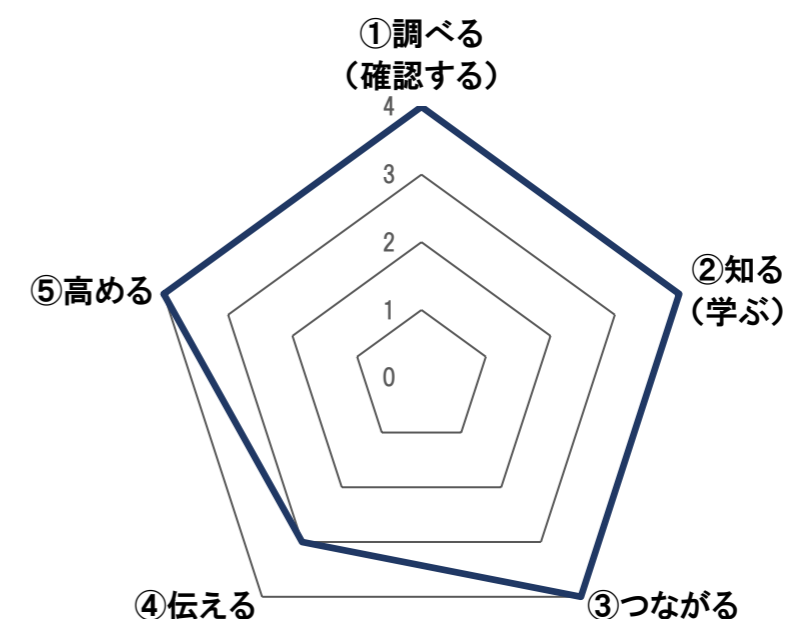
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動が校区内全町内会で実施され、地域住民の状況把握を行うことができた。	4	情報把握の手段として、きずな安心キットを今後も有効に活用していく。
②知る (学ぶ)	日頃の実践を通し、学びを深めることができた。	3	必要に応じ学びの場も設定していく。
③つながる	小地域ネットワーク活動や各町内会での訪問・見守り活動、鍵預かりサービス事業(利用者2名、事業協力員12名)等の実施により地域につながりを生むことができた。	4	今後も継続していく。
④伝える	対象となる高齢者自身にも事業趣旨を理解してもらうため周知していく必要がある。	3	周知を進め、事業の充実を目指していく。
⑤高める	地域住民の安心とつながりづくりに寄与することができた。	4	今後も継続していく。



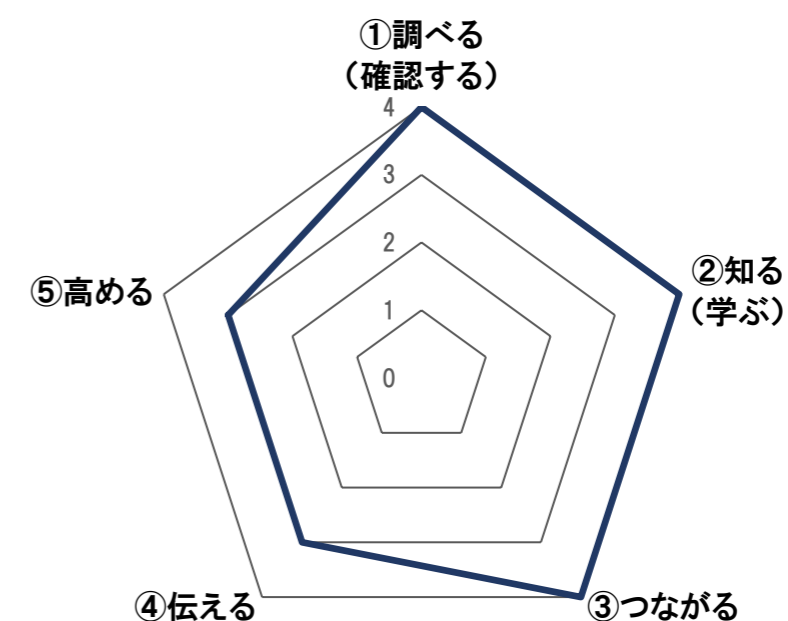
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい・子育てサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	サロンやふれあい会食会の実施を通し、参加者や地域の実情を把握することができた。	4	今後も安定した実施を目指す。
②知る (学ぶ)	サロンサポーター連絡会やサロンでの講話等を通し、サロン運営者も参加者も学びを深めることができた。	4	今後も地域のサロン活動が活性化するような学びの機会を設けていく。
③つながる	地域包括支援センター等、関係機関とも連携しながらサロン活動やふれあい会食会を行うことができた。	4	今後も継続して連携を図っていく。
④伝える	住民の居場所やつながりづくりの必要性が地域に浸透してきているが、今後も活動を継続しつつ発信していく必要がある。	3	活動継続とあわせ、地域への周知も続けていく。
⑤高める	ふれあい会食会は校区内の全町内会で実施され、地域のつながりづくりの機会となった。	4	地域の居場所、つながりづくりの場として今後も推進していく。



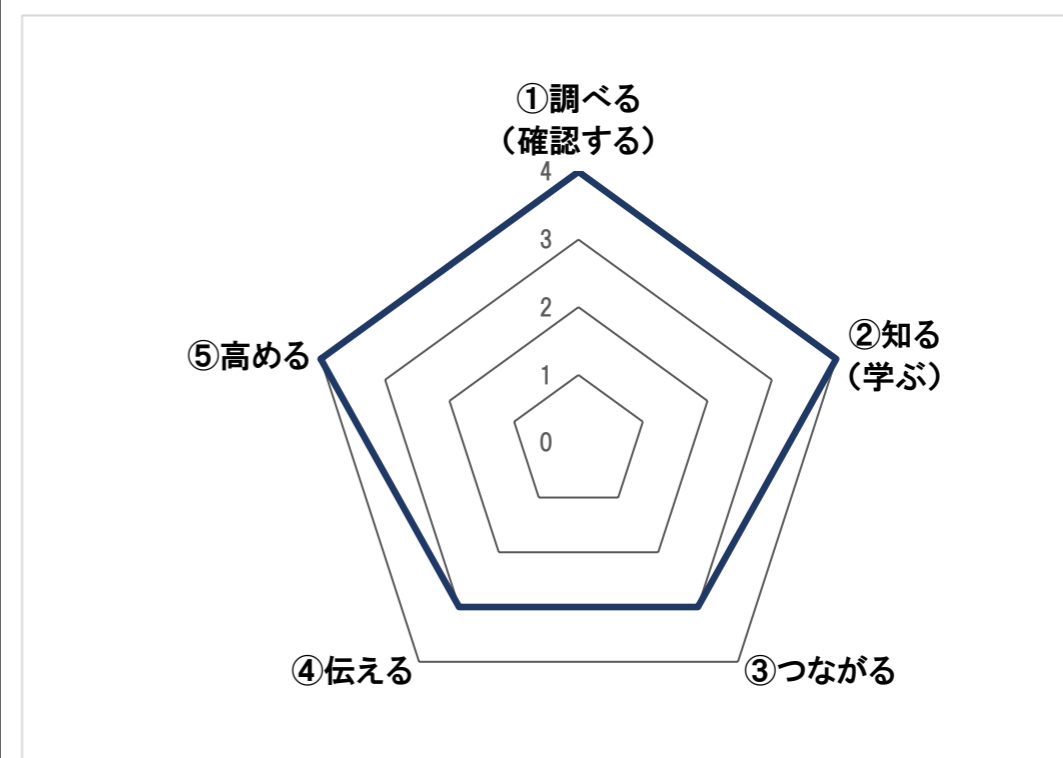
気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	地域の住民が集い、実情を把握することのできる場としてしゃべっ茶おを実施することができた。	4	今後も継続した実施を目指す。
②知る (学ぶ)	運営スタッフで定期的な打ち合わせを持ち、拠点の方向性や必要性について理解を深めた。	4	今後も都度の打ち合わせや方向性の共有を図りながら進めていく。
③つながる	地域包括支援センター、民生委員・児童委員、町内会役員、鷺別小学校とも連携し実施することができた。	4	今後も関係機関と連携しながら、より良い活動を目指す。
④伝える	チラシの回覧や住民への声掛け等で周知を図ったが、推進委員内にも浸透していない部分があり、今後も周知が必要。	3	今後も住民や関係機関へ地道な周知を続けていく。
⑤高める	より良い活動となるよう、運営スタッフで協議を重ねながら推進ができた。	3	拠点として目指すべき方向性やより良い活動について今後も検討を進めていく。



住民主体の買い物支援サービスの展開

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	校区委員会の中で、地域の実情や目指すべき事業の方向性について、熱心な話し合いを持つことができた。	4	地域の実情も踏まえ、今後もモデル事業の実施に向け検討を図っていく。
②知る (学ぶ)	包括けいあいからの情報提供を基に、地域高齢者が抱える課題を踏まえモデル事業検討を進めることができた。	4	モデル事業実施に活かすとともに、地域の実情を広く住民とも共有していくことを目指す。
③つながる	包括けいあいと連携しつつ事業の協議を進められたが、モデル事業の実施に向けては、より校区内の機関や専門職と連携を図っていく必要がある。	3	モデル事業実施に向け、今後ますますの関係性構築を進めていく。
④伝える	モデル事業実施に向け、今後ますます校区内に広く事業の必要性を伝え、共有していく必要がある。	3	モデル事業実施に向け、広く住民に事業の必要性や方向性を伝えていく。
⑤高める	校区委員会での意見交換を通し、モデル事業実施に向け機運を高めることができた。	4	今後も継続し、より良い事業実施を目指す。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	中原 義勝	きずな推進委員	村井 美保子	校区きずな推進委員	小林 靖親
サブリーダー	竹内 信子	きずな推進委員	鈴木 信義	校区きずな推進委員	廣瀬 淑子
サブリーダー	原田 敬三	きずな推進委員	伊藤 隆夫	校区きずな推進委員	柏木 修吉
サブリーダー	稲葉 雅幸	きずな推進委員	岡本 政志	校区きずな推進委員	荒木 政博
きずな推進委員	池畠 泰彦	きずな推進委員	堀澤 正一	校区きずな推進委員	加藤 征一
きずな推進委員	雨洗 康江	校区きずな推進委員	高橋 学	校区きずな推進委員	小田 則子
きずな推進委員	川島 芳治	校区きずな推進委員	室谷 隆		

1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
5月20日	第1回鷺別小学校区きずな推進委員会	18名	1)昨年度の校区きずな計画評価について 2)今年度の校区きずな計画(3期4年目)の実施内容について
1月20日	鷺別小学校区リーダー・サブリーダー会議	4名	1)買い物支援モデル事業について
1月29日	第2回鷺別小学校区きずな推進委員会	18名	1)買い物支援事業実施に向けた検討 2)住民座談会について
3月27日	鷺別小学校区のこれからを考える勉強会	—	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

はまなす町内会	ありあけ町内会
はまわし町内会	鷺別1丁目町内会
鷺別2丁目町内会	鷺別3丁目町内会
鷺別町4丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
ひまわり町内会	

実施率 100.0% (9 / 9)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

ふれあい健康サロン	おいでやサロン
はまわしの会	4丁目サロン
リビエールサロン鷺楽	あいあいサロン
サロンあじさい	かもめ

ふれあい会食会

はまなす町内会	ありあけ町内会
はまわし町内会	鷺別1丁目町内会
鷺別2丁目町内会	鷺別3丁目町内会
鷺別町4丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
ひまわり町内会	

実施率 100.0% (9 / 9)